

特定NPO法人「共に生きる」

手間な会計「お助け」

大分市の特定NPO法人「共に生きる」(江藤裕子代表)は、会計作業が簡単にできるNPO法人向けのパソコン(PC)ソフトを作った。NPO法人は会計書類を毎年、県に提出する義務があるが「苦手とする団体は少なくない」(県民生活動支援室)のが現状という。ソフトはNPO法人の事業内容に応じたオーダーメイドで、江藤代表は「会計は最少の労力で、本来の活動に専念してもらえれば」と話している。

会計ソフト 表計算ソフト「エクセル」で利用できる。ソフトだけの販売はしておらず、共に生きるのメンバーが団体にアウトして活用方法を教える。法人会員(毎月3000円)になることが必要。問い合わせは、HPまたは、担当の後藤さん(☎097・544・5353)。

内の8団体が利用。後藤さんは「家計簿や小遣い帳の感覚で定期的に入力すれば、1回の作業は10分程度」と話す。

「共に生きる」は2010年5月、特定NPO法人に認定され、病気のある子どもの親から相談を受けた

日々の現金の出し入れや銀行通帳の残高入力だけで、活動計算書、貸借対照表、財産目録といった

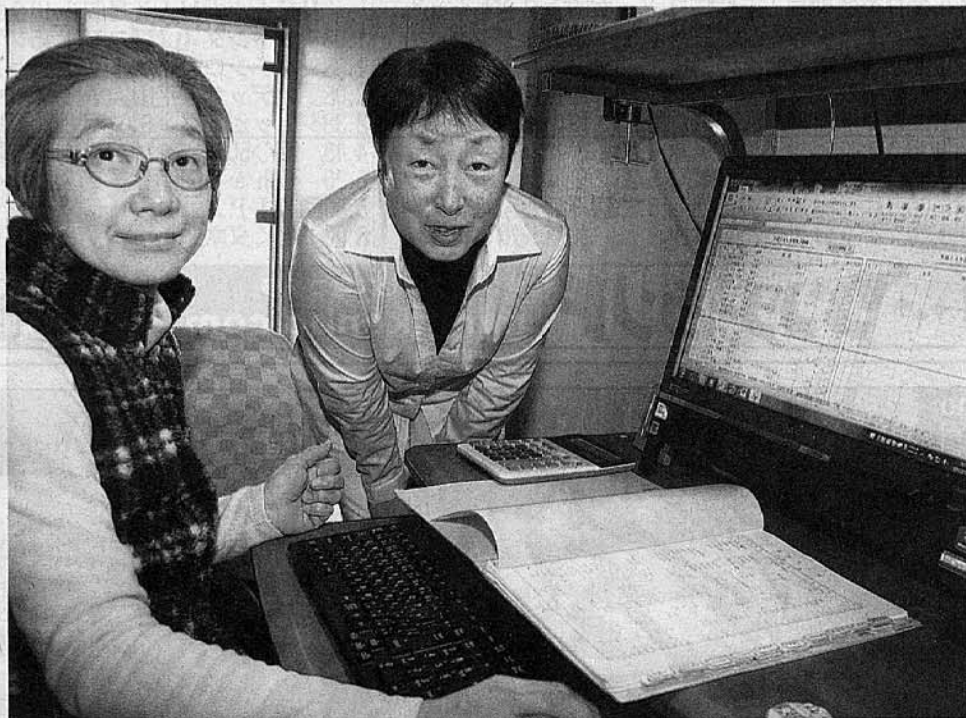
NPO法人向けにPCソフト

り、人権講演会を開いている。長年、企業で会計業務をしていた江藤代表(55)やメンバーの後藤美子さん(59)が経験を生かして昨年3月にソフトを作った。

に提出する必要のある書類が完成する。これまでに県

模の大きな一部だけ。会計な信用力が高まり、行政や企業との協働がしやすくな

「本来の活動に専念して」



NPO法人の会計作業を支援するパソコンソフトを作った特定NPO法人「共に生きる」の江藤代表(右)と後藤さん=大分市古国府

(佐藤栄宏)